042-550-3030 FAX 042-558-0756 〒197-0825 東京都あきる野市両間385-2

http://www.komorebinosato.or.jp 社会福祉法人さくらぎ会・特別養護老人ホーム こもれびの郷・広報委員



内候る

、桜候っき

いやか他はがて年

た開ものよ続くは

し花しおういる寒

まのれ花やて様い

す様まはくおな日

ないしき

がずおて

られ時お

順に間り

次せがま

ごよかす

る

方皆

に様

も以

お外

伝で

えご

下面

さ会

いに

ま来

せら

れ

子せも咲り大と

をんういま変暖

少てす予か

想い

が日

難交

し互

いに

が

と施触開ン な設れさクこ っのるれシの スこ い報と多テと く発がくムは こ信での とがき人ふ東 がとまたく京 える うてすちむ都 想も。がすの 想も さ大今こび福 れ事後のし 祉 まなは情に人

すも法報も材

行

な

9

ま

 \mathcal{O}

うメ

し上時

ま旬間

す。に午後

な後

るニ

べ時

く す

多ぎ。

開期

催間

日中

をへ

<

の人に公バ

な位や貴

のそ認 のの 評し定今認事こ 価て機年定業も を現関は第にれ 維地と早一取び 持調のく号りの す査書も施組郷 るを類更設みで こ全審新と とて査のなお 時っ陰早 がク でリヒ期 て様く ア おでか ア ۲ き リなり東ら まし ま京の

ンン、 そグ す都こ た。

わ染りに

おで

0

散

歩

週

目重でせ症ま例こ

を会、とのすが、とのすが、

定も節なめが「郷

なる感ま普昨花は

じし通年見四

ば年

開様を初

催本行旬

見もて時

合感お期

ない、 しること 通り同様 も同様を

歩才的なする対す年も

地機がこ策

しあをりに

利か利

用き、用き、

様 場 様

本所の

きてい表受 まい職さけ設 する場れ 定 かにるそさ を留このれ 広意と達た くして、感評 度価 知た ら事ど合基 し業れい準 め運だをに る営け数よ こが 働 値る と成き化審 がさやし査

でれ す 発を

た9の言 年事事東 よ業業京 り所は都 そが の対都祉 取象 内局 りのにが 組評 数主 み価多導 は事存す 始業在る まです表 り平る記 ま成福の

し2 祉宣



さボ

くル社

らツ会

ぎリ福

育の法

園植人

で樹さ

行がく

ま月会

3シ

ロシ

に

わ わるぎ

た。

5

る齢設

と化の

いし年

うたに

意た植

図め、樹で、さ

代れ

で

1 祉 保

D

場 宣 が 言 や 事 **ਰ** 61 所

Τ

0

祉K

 \mathcal{O}

更

新

作

たた施 行替た ち設当わわさこ 賑長日れりくれ やがはたのらは

行 事 3 と代施 が表設 でやの き現園 ま役長 袁

か揃法も桜の にい人のを樹法 傘で植が人 う理下すえ高開

2・3代目園長の競演 した毎 てだ月こ

以 お ボ利ご 下利り以 ご用ま下 ラ用面 ン者会 協者すの テ様の カの 感 下皆 染 ィのー 症 ア外部 さ様 活出自 いの 対 °安 策 動外粛 を 全 の泊 停停 \mathcal{O} 行 た 止止 つ 7 80

感 症 対 施

Ф

求現状げてさり様 ら祉 て施そめ状況てきままと福 い設うらのやこたのせ向祉 までしれ生条ら時過んきの すはたて活件れ間去 合お 充完いのをた、か高う仕 実成ま質可人そら齢と事 し度すの能間し現者いは ゜向な関て在でう たを 上限係そまあこ単 職高 をりなのでるとに 員め 図活ど間に利だ利 研る るかのに過用け用 修た 工し様作ご者に者 がめ 夫つ々りさの留の 求に がつな上れ皆ま皆 め福

な性ごたして るで歌 と集をまっの案人た雛先 いま楽たて皆内形 。人月 お様しの一形の いっし み音らもま前階の三 ま楽れ大しでの展月 ね楽し イ2な そ性人ラてま ベロど うだ数ン鑑つ ン2で にけづス賞り ごでつにを行 ト4は が年季 覧な順飾行事 出は節

• • • ③ • • • • ② そ現定関高 思考発セメ の状義連齢 考え生ルン の方とフタ 影とに法者 ク・要ケル 響課つ案虐 題いの待 セ受因アヘ けをとル (学)的 と理スス 習止 め解ト

にく番らいと 男にれまし 来皆の • • • 1 家受日概夕 族容本念) を過人やミ 含程の医ナ めへ死学ル た合生的ケ ケ認観なア

ア〜 定に 受 義つ 方すし 容 ない るス ま どて

おけ利も りる用れ 節 ま様者び 行 すなのの 事 イ皆郷 ベ様の ンに余 月 ト季暇 • 節 委 行を員 事感会

をじで

企ては

いで

は開てに自

エントランスにお雛様を飾りました。

こ員

以し必研分 まのつお所 下た要修のそ のりなを都の 3すら行合点 点る繰うでE のこりこ産ラ 研と返とみし 修もしが出二 を可たでしン 行能りきたグ ま時は ます中す間職し、断。に員 た今・そ自が、 回再し由

すがでり 困もまそ常でァラ 難変すしのすート 。 で集 に化 なすそ規合 るるし模型 ととてがの い研こ厳研 う修れ密修 場のらには 合実の決 さ現条め時 えそ件ら間 あのがれと りも一て場

E昨画 ラ今的こ 通ろフE ーはにも そ職れ ンの員び ゜スニ トン グ研研の なグ を修修郷 利もをで エの 用1行は 夫 利 に点 してっ 溢は て化て定 れ いがお期 て研 ますり的 す。すまか い修 るが みずつ、が計

「こもれびの郷」への入所ご相談下さい

お気軽に見お問合せ下さい。

※ご本人様の状態によってはご利用いただけない場合もございます。 お問合せ先:電話 042-550-3030 メール info@komorebinosato.or.jp 担当 生活相談室

施 内 職 修

(D)

続り手プす熱 \mathcal{O} 育そけ良を口 成のていあジ特にも に中く育げェに職れ でれ成てク近員び、てのくト年育の つ 61 て今い実れしは成郷 解回ま現たを組にで説はすに職置織取は をパ 向員き内り に組開 (1 l けの たト て皆各一ん園 . し職 であり でおり でおり でおり ま員 みす。 をよら成まら

お

お

め

C

61

す

任パ 導 者 者 各福パ職 ユ祉1員 系卜育 三系りなった 卜複) 体 - のワー t を数有資な

責へ

指

置を を把 力格 者 てせ様 だの様ご おたのこ りおおも ま祝誕れ すい生び $\Box \mathcal{O}$ バの郷 月で て

スデースデーの その利 企 方用 画を に者 合の 行わ皆 つ

おたいをりだいさか さ企だ感で利趣 本来するかは ではしてはいいないです。 でするのです。 でするのでするの様だれるのですというのです。 でするのでするのでする。 でするのでする。 でするのでする。 でするのでする。 でするのでする。 でするのでする。 でするのでする。 でするのでする。 」なだ者もて様いは、 を形い様のおに、 で考えて事だいのでは、年に一回に、年に一回に、年に一回に、年に一回に、のですがある時間である時間である。 を喜員の せ回なの 運んが担 て日お郷 んで行当 い頃客を

入サ3出実2利見1へ

浴ポか来際か用学か育

等し月たの月者が月成

ユト目も業目氏主目スニが の務 名。ケ

かを

ら体

部験

分•

的指

に導

任を

さう

れけ

るる

やー

備日

品の

の流

位れ

覚握

えす

美しい白の空間

俳

句

]1]

柳

花

二の

接コ下

吻ラ来

すイて

渡

邉

吉

氏

主今可 とは能本りだ なホな来まけ てムです お内すと のでが近 まの す誕ごへ 生時の パ世外 も出 テ あな イー りども

見で進表パク ててて も、歩を一面まおスおこ

IJ र्वं

まジ、様

ュ更に

ーにか

ル個な

は人り

調の手

整進厚

が捗い

可具指

能合導

とにを

な応行

つじっ

ッ付

> <

外形

業で

務ひ

のと

研り

修立

開ち

始

接ス不状記ト接たりケりの



青空の屋上で

良

備整備 も更的新 を理が老近衣にやこ お整進朽代室行時も しを続てにび りっ郷 男年事設 子度を設 更の計備 等 衣女画の

こ頓み化化にっ代れ えれ職た行きおあの るた員口い 様空がッま今またで ま事潔交 準よの り整 室 子

しへで、換 た。の 解し第

のたこ再 程いの開 おとっ時 願考こ期 いえもは 申てれ未 しおび定 上り新で げま聞す ます。 っって^ハ、 何お決 卒知ま ごらり 理せ次

間見 延合 のせ お 知

と休のそだ と止安し終新 し期全て息型 ま間をボしコ しを守うてロ た延るンおナ 長為テりウ さにィまイ せもアせル て引のんス いき皆 た続さ利行 だきま用が く活自者い こ動身様ま

気候の良い日は屋外にもでられる様に

けしど志てス構

すごたさりムさの

入様れまをれ様

職でるすごたに

いも方の用研丁

た安はで意修寧

だ心

ま添部と

たは

指共実にム安況入職も

導有際おしののし員随

がさのいス解確でさら 引れ現てに消認臨ん行

き、場両行やなみはわ続当の者わ成どまそれ

わ不に認い為わそにり、

てに必れま課ま場己新

い寄要たす題すで評しまりなっ、発のは無い

発のは価いバ

れ安もさきのれの自

きりなこ

まてな望おテ築こすっ分は面も

しシに



春

書道クラブ作品

昼

花食

御見と

苑し



メ

春モ

百のリ

合おア

の彼ル

花岸

庄

司

氏



卒 硯勤や 箱賞 ~ O 石 JI]

氏

夜風 月道や 明の か空 りの 星 野

かて なの 後 藤 氏

がな

<4月の行事>

1 月 お花見・散歩週間ここから

春

乙風

口女や

う

ウの

バよ

イ

2 火

3 水 4 木

5 金 理容

6 土 療法士指導

7 📙

8 月 散歩クラブ 9 火

10 水 防災訓練

11 木

12 金 理容 13 土 療法士指導

14 📙

15 月 散歩クラブ

16 火

17 水 菓子配達

18 木 理容

19 金 訪問美容 20 土 療法士指導

21 📙

22 月

23 火 24 水 書道クラブ

25 木 散歩クラブ

26 金 利用者懇談会 27 土 療法士指導

28 🖯

29 月

30 火 散歩クラブ

<5月の行事>

1 水

2 木 クラブ活動

3 金 理容 4 土 療法士指導

5 | 6 月

7 火

8 水 防災訓練 9 木 クラブ活動

10 金 理容

